

## 目次

議長新年あいさつ	1
新春を迎えて各会派の抱負	2~4
概要、意見書	5
代表・一般質問	6~11
委員会の活動記録	12・13
審議結果、請願	14・15
お知らせ	16

# No.215

2018年(平成30年)1月1日

# みなと

# 区議会だより

平成29年 第1回臨時会

平成29年11月6日

平成29年 第4回定例会

平成29年11月29日~12月8日

## 議長新年のあいさつ

~「心豊かな都心」港区に向けて~

区民の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成も本年で30年という節目を迎えました。

その間、情報通信技術の革新により新しいネットワークコミュニケーション社会が生まれ、多様な生き方がより尊重される「個性の時代」が到来、生活者と真摯に向き合う地方自治体の役割は益々その重要性を増しているところです。

平成を迎えた当初、港区の人口は17万人余りでしたが、今や人口は25万人を超え、今後10年間で30万人に達する見込みです。

港区は、活気と希望に満ち溢れる一方で、「人口急増に伴う子育て・教育・福祉などへの対応」「新駅に代表される環境と未来を見据えた新たなまちづくり」「ラグビーワールドカップ2019日本大会・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の成功に不可欠な安全・安心や国

際化への取り組み」など、喫緊の課題も顕在しています。

港区は昨年、区政70周年を迎えました。

港区議会は、次世代に繋ぐ「一世紀の港区」を見据え、支援を必要とする方々に手を差し伸べることのできる優しさを礎とし、力強く、着実に、区政を推進して参ります。

本年も、区民の幸せのもと全議員が結束し、港区に住み、働く人すべてにとって「心豊かな都心」となるよう、議会一丸となって身を尽くして参ります。

平成30年が、区民の皆様と港区にとりまして、幸せと安寧に満ちた一年となりますよう心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



港区議会議長

池田 こうじ

議長  
池田 こうじ  
副議長  
七戸 淳

玉木 まこと  
榎本 あゆみ  
山野井 つよし  
兵藤 ゆうこ  
丸山 たかのり  
池田 たけし  
黒崎 ゆういち

小倉 りえこ  
赤坂 大輔  
榎本 茂  
横尾 俊成  
清家 あい  
ちほぎ みき子  
やなざわ 亜紀

有働 巧  
鈴木 たかや  
土屋 準  
大滝 実  
いのくま 正一  
杉浦 のりお  
なかまえ 由紀

阿部 浩子  
近藤 まさ子  
ゆうき くみこ  
二島 豊司  
熊田 ちづ子  
風見 利男  
杉本 とよひろ

林田 和雄  
清原 和幸  
うかい 雅彦  
井筒 宣弘  
(議席番号順)



港区議会

〒105-8511 港区芝公園1-5-25 電話03-3578-2920

ホームページ <http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

フェイスブック <http://www.facebook.com/minatokugikai>



表紙をあなたの写真で飾りませんか？

【写真のテーマ】

私が好きな港区の風景

(発行月の季節にあった風景)

詳しい応募方法は、16頁をご覧ください。

# 新春を迎えて 各会派の抱負

## ●● 自民党議員団 ●●

港区民の皆様には健やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

日頃から自民党議員団に温かいご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

港区は本年、港区基本計画及び港区実施計画の後期見直しの時期を迎えました。当面の間、継続する人口増加に伴い、子どもから高齢者まで、区民から必要とされる施設の整備や、幅広い行政サービスによる支援を充実させることが求められています。

自民党議員団は港区のため、港区民の皆様のための課題を認識し、本年は10の分野において重点的に推進していきます。

①港区ならではの戦略的な行財政運営、②強い地域経済、③防災・防犯対策の強化、④誇れる子ども・子育て支援、⑤すべての人に開かれた教育・文化芸術の振興、⑥すべての女性・高齢者・障害者等が輝く暮らし支援、⑦人間と自然の共生を目指した環境・エネルギー対策、⑧港区の未

来を創り上げるまちづくり、⑨人生100年時代を見据えた健康づくり、そして⑩東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた取組の推進です。

港区では54年ぶりに人口が25万人を超えました。代々港区に居を構える方、ご商売を営まれる方、港区に移り住む方、そして港区で生まれる子どもたち、あらゆる立場の区民に目の行き届く万全の区政運営が行われるよう、皆様のお声やご意見を区に届けてまいります。

更なる発展が見込まれる港区におきまして、都市整備が区民生活の向上に資するものとなるよう、地域に暮らす区民の皆様と共に、地域に根差した責任ある政党として取り組みます。

12人からなる区議会第一会派としての責任を重く受け止め、これからも活動してまいります。

本年が区民の皆様にとりまして、明るく希望に満ちた一年となりますよう、心から御祈念申し上げます。



黒崎 ゆういち 小倉 りえこ やなざわ 亜紀 有働 巧 鈴木 たかや 土屋 準



ゆうぎ くみこ 二島 豊司 池田 こうじ 清原 和幸 うかい 雅彦 井筒 宣弘

## ●● みなと政策会議 ●●

新春を迎え、皆さまのご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。また、日頃より、「みなと政策会議」に温かいご支援を頂き、厚く御礼申し上げます。

私たちは、民進党、立憲民主党、社民党、無所属の計9名からなる、若手が中心の超党派の会派です。

多様性を重視し、常に活発な議論を行い、はっきりともの言える、開かれた政策集団として、思い切った改革を行うために、本年も邁進してまいります。

港区は、昨年2月に54年ぶりに人口25万人を突破しました。これにより、益々多様なニーズが区政に求められています。多様性を重視する私たちは、9名それぞれの得意分野を生かし、区民の皆さんの多様なニーズを区政へと反映していく所存です。

特に、深刻さを増す保育園の待機児童対策をはじめとする子育て支援、子どもの貧困問題、虐待対策、高齢者支援、障がい者支援、受動喫煙対策等は、充実させる必要があると考えています。

また、東京の中心に位置する港区として、全国のリーダーとなるよう、全国に先駆けて、産業・観光・環境・ボランティア、教育など様々な分野で新しい試みを提案していきたいと考えています。

明るく希望に満ちた、活力溢れる港区を、皆さまと一緒につくっていきたく願っていますので、皆様のお声をお寄せください。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



榎本 あゆみ 山野井 つよし 兵藤 ゆうこ 横尾 俊成 清家 あい 杉浦 のりお



なかまえ 由紀 阿部 浩子 七戸 淳



## ●● 東京維新の会 ●●

次世代、次々世代の子ども達の為に鋭意活動して参ります。



赤坂 大輔

## ●● 港区民と歩む会 ●●

水質改善、高層住宅防災、教育に全力で取り組みます。



榎本 茂

## ●● 街づくりミナト ●●

本年も一人会派として区民主役の街づくりに取り組みます。



玉木 まこと



# 新春を迎えて 各会派の抱負

## 公明党議員団

あけましておめでとうございます。  
皆様には日頃より温かくも力強いご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

人口減少社会への対応が求められる中、昨年、港区の人口は25万人を超えました。合計特殊出生率は23区トップとなり、今後10年のうちに30万人を超えると予想されています。

国では「全世代型社会保障」の方向性が示されていますが、港区では、これまでの「港区

基本計画・実施計画」が見直され、後期3年の事業が平成30年度から始まります。

東京2020大会を見据え、さらなる安全・安心のまちづくり、思いやりのある共生社会の実現、そして、すべての区民が夢と希望が持てる港区の構築に向けて公明党議員団6人全員が力を尽くして参ります。

区民の皆様にとりまして、本年が輝かしい一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。



丸山 たかのり



池田 たけし



ちほぎ みき子



近藤 まさ子



杉本 とよひろ



林田 和雄

## 共産党議員団

あけましておめでとうございます。総選挙では安保法制廃止、安倍政権による憲法9条改悪反対で一致する市民と野党の共闘が大きく前進しました。東京一区でも野党統一の候補を当選させることができました。引き続き市民と野党の共闘に取り組み、安倍政権がねらう憲法改悪を許さない運動に取り組みでまいります。

今年は区民のみなさんの暮らしに直結する国民健康保険制度の改正や第7期介護保険事業計画策定などが行われます。区民の暮らし・福祉を守るために今年も全力で取り組みます。ご意見・ご要望をお寄せください。



大滝 実



いのくま 正一



熊田 ちづ子



風見 利男



## 会議日程

### 平成29年第1回臨時会 会議日程

11月6日 運営委員会・本会議  
会期決定 諸報告  
議案付託  
エレベーター等対策特別委員会  
議案の審査、委員長報告  
運営委員会・本会議  
議案の議決

### 平成29年第4回定例会 会議日程

11月29日 運営委員会・本会議  
会期決定 諸報告  
代表・一般質問4名  
30日 運営委員会・本会議  
代表・一般質問5名  
先議案件付託  
総務・区民文教常任委員会  
議案の審査、委員長報告  
運営委員会・本会議  
先議案件議決、議案等付託

12月4日 4常任委員会  
議案等の審査  
5日 4常任委員会  
議案等の審査  
6日 総務・保健福祉常任委員会  
議案・請願等の審査  
8日 4常任委員会、4特別委員会  
委員長報告・中間報告  
運営委員会・本会議  
議案等の議決

## 臨時会の概要

平成29年第1回臨時会は、11月6日に開会され、区長から提出された議案1件「和解について」を可決しました。内容は、平成18年6月3日、港区特定公共賃貸住宅シティハイツ竹芝において発生したエレベーター事故に関する損害賠償請求訴訟事件について、和解するものです。

## 定例会の概要

平成29年第4回定例会は、11月29日から12月8日まで開会され、初日と2日目に計9人の議員から区長及び教育長に対して、代表・一般質問が行われました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例改正・補正予算など26件を原案どおり可決・了承しました。皆さんから提出された請願は、1件を採択、7件を継続審査としました。議員提出による案件は、意見書1件を可決し関係機関へ送付しました。

## 意見書を提出しました

### 東京都受動喫煙防止に関する条例に係る意見書

東京都は、「東京都受動喫煙防止条例（案）」をラグビーワールドカップ開催までに施行するとしています。平成29年9月に公表された「東京都受動喫煙防止条例（仮称）の基本的な考え方」では、都民の健康増進の観点のもとより、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストシティの責務として、受動喫煙防止対策を一層推進していくことを目的に、対象となる施設の規制範囲や罰則の適用等が示されました。

受動喫煙防止対策は、様々な分野の経済活動や区民の暮らしに広く影響を及ぼすとともに、関係事業者の理解と協力のもとで実効性が担保され、効果的な対策となるものです。

よって、港区議会は東京都に対し、受動喫煙防止条例（案）については、理解と共感を得られる条例となるよう、各区と十分協議するよう、強く求めるものです。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

東京都知事 あて



# 代表・一般質問

## 11月29・30日

※「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」の表記は「東京2020大会」で統一しています。

### 自民党議員団

#### 行財政運営について

##### Q. 30万人都市に向けた区政運営について

A. 複雑・多様化する区民ニーズに応え、質の高いサービスを提供する。特別区民税収入の確保、受益者負担の見直し、効果的な財産の活用など、自主財源の確保に努める。また、事業構築や経常的経費の節減等、内部努力を徹底し、中長期的な視点に立った盤石な財政基盤を堅持する。

#### 港区版ふるさと納税制度について

**Q. 事業概要について**  
A. 寄付金を充当する事業は、寄付者が区を誇りに思い、「泳げる海、お台場の実現」や「子どもの未来応援施策の充実」など、寄付による効果が実感できる5事業程度を中心に開始する予定としている。今後も全庁での議論を踏まえ、対象事業を決定する。

##### Q. 区民アイデア枠の創設について

A. 寄付をする事業を区民から公募で組み入れる「区民アイデア枠」については、今後運用していく中で具体的な手法を検討する。

##### Q. 地域貢献を実感できる仕組みについて

A. 寄付をしていただいたすべての皆さんに対し、お礼状と事業進捗状況をお知らせする。様々な工夫を凝らした取組により、寄付による地域への貢献を実感し

ていただく制度とする。



#### 港区基本計画（素案）について

##### Q. 前期3年計画の政策評価及び成果について

A. 学識経験者、公募区民、行政で構成する港区行政評価委員会が専門的な視点や生活者の視点を取り入れた政策評価を実施している。今年度実施した政策評価において、29のうち26の政策において達成の評価をいただいた。現行計画は政策ごとに施策の範囲や事業数に大きく偏りがあると指摘もあった。

##### Q. 計画策定の前提・背景の修正点について

A. 新たな法律の制定や法改正の動向に的確に対応している。また、全国各地域との連携強化、東京2020大会に向けたまちづくりや安全・安心の確保など、港区ならではの課題対応を新たに設定している。

##### Q. 政策評価及び成果を実感できる計画・実行体制について

A. 計画事業の一部のみに成果目標、活動指標を設定していることや、目標や指標が政策の達成状況を適切に表していない政策が一部あり、評価委員から改善が必要と指摘を受けた。今後の効果的な実施に向け改善する。

##### Q. 地域共生社会の実現に向けた基盤づくりについて

A. 町会・自治会や事業者、大学、NPO等との協働をより一層推進し、地域が一体となった施策を展開していく。

##### Q. 重点課題の推進体制について

A. 組織横断的な推進体制を整備し、学識経験者や区民委員を招いて幅広い視点で検討してきた。重点課題の位置付けや役割を常に意識し、広い観点から課題を解決する。

##### Q. 震災復興基金の積み立てに向けた財政計画について

A. 質の高いサービスを展開し、積み立てを着実に実行する。そのため歳入を精緻に積み上げ、財源を確保し、簡素で効率的な事務執行に努める。



#### 子ども・子育て支援について

##### Q. 待機児童解消緊急対策の進捗状況と今後の定員拡大について

A. 来年4月までに577人、来年度末までに更に799人、合計1376人の定員拡大を見込んでいる。引き続き様々な手法を活用し、待機児童の解消に取り組む。

##### Q. (仮称) 港区子ども家庭総合支援センターについて

A. 子ども家庭総合支援センターが中心となり、問題をいち早く捉えて支援を提供し、必要に応じて児童相談所や母子生活支援施設が専門的援助や保護を行う。子どもと家庭の状況の変化に合わせて、複合施設が連携することにより、切れ目なく効果的に支援する。



(仮称)港区子ども家庭総合支援センター建設予定地

#### 教育について

##### Q. 基礎学力を定着させる教育について

A. 理解度に差が開く算数・数学などの授業において習熟度別少人数指導を実施し、港区独自の取組では区費講師を配置して基礎学力を定着させる教育を実践している。ICT機器も積極的に活用し、子どもたちの習熟度に応じて学力が身に付く新たな取組について研究する。

#### 女性の活躍について

##### Q. 国際的な視点で事業を実施していくことについて

A. 世界経済フォーラムの男女格差指数を取り上げ、区の施策に国際的な視点を加えている。区内にある大使館にもご協力をいただき、先駆的な政策を展開する国の取組を紹介する講座を企画している。

##### Q. 男性職員の育児休業取得促進について

A. 育児休業取得率の数値目標を掲げ、管理監督者を中心に男女が共に家庭的責任を担える職場の雰囲気づくりを進めた結果、目標を超える実績に結びついた。

#### 文化芸術振興による観光施策について

**Q. (仮称)文化芸術ホールについて**  
A. 質の高い事業の創出に結びつけるため、芸術家と区民の協働による作品制作など、港区ならではの文化プログラムを実施している。港区の文化芸術振興の中核拠点となるよう整備する。

##### Q. 歴史的資源を活用した観光施策について

A. 明治維新150年を迎える平成30年は、区内にある明治ゆかりの歴史的資源を活用しながら、様々な手法で港区観光の更なる魅力の発信と周知を図り、観光客の来訪と地域の回遊・活性化に繋げる。

##### Q. 東京国際映画祭について

A. 昨年は初めての試みとして、区独自で区内5地区での映画上映

映会を開催した。今年は近隣商店街と連携して特典付きの冊子を作成したり、観光インフォメーションセンターで映画祭の予告放映などを行い、店舗利用の促進と観光客の誘致を促進している。



#### 障害者のスポーツ活動について

##### Q. 参加の促進と普及・啓発について

A. スポーツセンターや学校施設で障害者スポーツの体験会を実施し、共にスポーツに参加できる機会を創出してきた。更に、競技用車いすや車いすでも利用可能なユニバーサル仕様の卓球台の購入など、障害のある方がスポーツをできる環境整備を進めている。



#### 東京2020大会について

##### Q. イギリスオリンピック委員会との今後の展望について

A. 10月に締結した覚書に基づき、イギリスのオリンピックが区やお台場学園主催のイベントに積極的に参加することとなった。今後もイギリスオリンピック委員会との連携をまちぐるみで推進する。

##### Q. オリンピック・パラリンピックで顕著な功績を残した区民等が関連イベントに参加する仕組みづくりについて

A. 企業連携を通じ、アスリートの

イベント参加を推進している。今後も区にゆかりのある方の情報収集や集約に努める。なお、パラリンピアン競技活動支援の観点から、有償でのイベント参加等、区関連イベントへの参加に向けた仕組みを構築する。

##### Q. オリンピック・パラリンピック教育について

A. 区民をはじめとしたアスリートとの交流を充実させ、各幼稚園・学校での体験的な教育を積極的に進める。



#### 大会のレガシーが地域に残るまちづくりについて

##### Q. 主要駅周辺事業者による防災対策について

A. 現在、区内8つの駅周辺滞留者対策推進協議会において、災害時の情報連携ルールの策定や、情報伝達訓練や資機材訓練等を定期的実施している。虎ノ門地区では新たに9つ目となる協議会設置に向け準備を進めている。

##### Q. 品川駅周辺の防災訓練に対する今後の展望について

A. 事業者による防災訓練、消防署や警察署等の関係機関と連携を図り、地域住民や関係団体への周知に協力する。

##### Q. 民泊に関する条例制定等の方針について

A. 現在、関係団体や学識経験者から意見や要望を確認し、住宅宿泊事業に関する区の基本的な考えと対応方針について検討を進めている。区民の安全・安心が確保されるよう、適切に対応していく。



## ●●みなと政策会議●●

### 高輪皇族邸について

Q. 天皇陛下退位後、高輪皇族邸に仮住まいされた際の地域への影響は。

A. 高輪一丁目の高輪皇族邸は、皇族である高松宮邸として長く使われ、地域に馴染んだ緑豊かで閑静な場所として親しまれており、地域の皆さんの関心も高いものがある。今後、退位後の仮のお住まいに決まった場合には、地域の皆さんと共に、心を込めてお迎えしたい。



高輪皇族邸

### 防災について

Q. 防災士の効果的な育成支援の方法は。

A. 町会・自治会や地域防災協議会などの活動への参加など、防災士の活動機会の創出を工夫していく。

Q. 区職員の勤務時間外に災害が起きた場合の参集体制は。

A. 区内在住職員を参集させる「特別非常配備態勢」をとり、初動態勢を迅速に確保する。

Q. 発災時に区が最優先に行うべき業務等を事前に定めた業務継続計画の改善を。

A. より実効性の高い業務継続計画となるよう進めていく。

### 児童相談所とNPOとの連携について

Q. 児童相談所設置に伴い、NPO等との連携が必要と考えるが区長の見解は。

A. NPO等の民間相談機関と連携し、複雑な問題を抱える児童を犯罪から守り、児童が自分の未来に希望を持てるよう支援していく。

### 保育コンシェルジュについて

Q. 利用者から好評の保育コンシェルジュの今後の展開は。

A. 家庭の状況に応じて、きめ細かく保育サービスを紹介できる保育コンシェルジュの役割は、さらに増加するものと考えており、充実について検討していく。

### 男性の育児休暇について

Q. なかなか進まない男性の育児休暇の取得についての対策は。

A. 男性や事業者の意識改革を図りながら、育児休暇の取得促進に向けた取組を推進していく。

### 難病支援について

Q. 来年の1月から難病医療費助成制度が改正され、患者の自己負担限度額が一部引き上げられるが、対策は。

A. 助成制度のしくみが複雑なため、引き続き難病患者への改正内容の周知を図るとともに、改正後の影響について、ケースワーカーによる聞き取りを行うなど、実態把握に十分に努めていく。

### 認知症について

Q. 認知症の早期診断・早期対応のための体制整備を。

A. 認知症の人が住み慣れた地域で生活を続けることができるよう、関係機関等との連携を充実させ、早期診断・早期対応のための体制を強化していく。

### 区内の中学校での生活指導について

Q. 区立中学では頭髪の指導等、どのような考えに基づいて生活指導を行っているのか。

A. 生活指導主任を中心に、生活指導の方針や頭髪、服装等について基準を定め、問題行動の発生時のみならず、日頃から保護者の理解のもと、組織的・計画的に、一貫性のある生活指導を行っている。

### 区役所・支所改革について

Q. 職員の育成のため、新規採用職員の最初の職場を総合支所に配置すべきと考えるが区長の見解は。

A. 新規採用職員を中心に、引き続き若手職員を積極的に支所に配置し、職員育成に取り組む。

Q. 区役所・支所改革の進捗状況と目指すべき方向性について、区長の見解は。

A. 総合支所とそれを支える支援部の体制を整備、充実させてきた。来年度は道路・公園の整備、放置自転車対策など土木分野の事務事業を総合支所に移管し、地域のまちづくり機能の強化を行う。

Q. 区役所・支所改革によって得られたスペースの活用方法について区長の見解は。

A. 保育室や緊急暫定学童クラブ、区民協働スペース等の事業の用途に活用してきた。引き続き、区有施設の効果的な活用を図っていく。

### 防災備蓄倉庫の管理について

Q. 防災備蓄倉庫の実働性を高めるために、物流保管のプロや経験者の協力を得て、マニュアルの作成をすべきと考えるが区長の見解は。

A. 全ての倉庫に共通の管理マニュアルを作成していく。



### 青色防犯パトロールについて

Q. 外国人住民等の増加に伴い外国語対応や人員等、パトロール体制について区長の見解は。

A. パトロールコース、車両及び人員等、パトロール体制のあり方を検討していく。

Q. 青色防犯パトロールを高齢者の見守りや問題行為等、安全・

安心のために活用すべきと考えるが区長の見解は。

A. 青パトの機動性を生かした効果的なパトロールをしていく。



### やさしい日本語について

Q. やさしい日本語が外国人に有用と考えるが外国人の参画と協働について区長の見解は。

A. やさしい日本語を普及、定着させ、外国人の参画と協働を一層推進していく。

### 東京2020大会のスポーツボランティア育成について

Q. スポーツボランティアの育成事業を実施し、応募者数が増加しているが、現在の取組と今後の展望について教育長の見解は。

A. ボランティア活動の基礎を学んでいただき、今後はプログラムの充実などにより主体的な活動につなげていく。

### 福祉売店の魅力向上について

Q. 障害者就労支援に役立つ福祉売店の取組の周知について区長の見解は。

A. リーフレットやデジタルサイネージを活用して広く周知していく。



### いじめについて

Q. SNS等の発達に伴い、複雑化・陰湿化するいじめの対処について区長の見解は。

A. 東京都人権プラザや関係機関

と連携しいじめをなくすための取組を推進していく。

### 区民意見を取り入れたバリアフリーの推進について

Q. 地域等からのバリアフリー化の要望をどのように吸い上げて推進していくのか区長の見解は。

A. 事業計画の見直しやバリアフリー基本構想の改定等に区民意見を反映しながら積極的に推進していく。

## ●●公明党議員団●●

### 総合支所の体制強化について

Q. 課題解決にむけて街づくり部門の機能強化をすべき。

A. 地域の実情に応じて総合支所が主体的に判断し、実行できる権限を総合支所に移管する準備を進める。

### 子育て支援施設の積極的な誘致について

Q. 容積率緩和の特例措置を活用して建設される大規模マンションは、新たな保育施設が必要と見込まれた場合は、都市計画の内容として位置づけられる。区から開発事業者に対し、保育施設の設置を要請すべき。

A. 開発事業者への働きかけをさらに強化するため、建築確認の事前協議先に保育部門を新たに追加等、待機児童解消に向けた取り組みを全庁一丸となって一層推進する。

### 就学前児童の保育・教育のあり方について

Q. 来年度の保育所保育指針の改定を踏まえ、0歳から3歳未満児の保育の質を確保し、「非認知的能力」を伸ばすべき。

A. 保育士への研修や経験豊富な保育士の助言等で保育の質のさらなる向上に取り組む。

Q. 就学前のすべての施設が教育施設と位置づけられたことで、「幼児期の終わりまでに育って

ほしい姿」の十項目をめざし教育の質を確保すべき。

A. 保育園、幼稚園、小学校及び家庭が、一層連携することで、「質の高い教育」の実現に取り組む。



### 女性の発達障がい者支援について

Q. 女性特有の隠された困難さに気付く寄り添う支援を。

A. 保健所などと連携し、生涯を通じてきめ細かく支援する。

### 民泊の取り組みについて

Q. 民泊新法施行を見据え、区が監督者となり、調査・監督体制を強化する一方で、家主が同居する民泊は観光振興の手段として育てるべき。

A. 区が民泊にかかる監督等の事務を処理できるよう準備を進める。民泊を区民と観光客の交流促進の場と捉えて、観光振興などにつなげる。



### がん診断時からの緩和ケアについて

Q. がんとの共生社会実現に向けて、診断時からの緩和ケアの必要性を周知啓発すべき

A. 緩和ケアが終末医療ではないことも含め、普及啓発に取り組む。



## 公明党議員団 (前頁の続き)

### 商店街の外国人観光客受入れ環境整備について

- Q. インバウンドによる商店街振興策のため、観光客の受入れ環境整備を支援すべき。
- A. 助成制度の活用や、先事例の効果を踏まえた情報提供など、積極的に支援をする。

### 品川駅周辺街づくりについて

- Q. 区の関わりについて。
- A. 地域の声や特性を踏まえ、周辺の緑や環境と調和した計画となるよう事業者を指導・誘導していく。

### お台場の水質改善について

- Q. 東京都などと連携した効果的な取組を。
- A. 都や東京2020組織委員会、住民や研究機関等との情報共有や連携を行い、水中スクリーンなど効果的な取組を進め、「泳げる海、お台場」の実現を目指す。



### コミュニティ・スクールについて

- Q. 導入に向けた検討を進めるべき。
- A. 学校・地域住民・保護者との協議を行い、導入に向けて検討していく。

### 区民サービスと接遇について

- Q. 窓口で相談できるマッチングや現場に赴き支援するアウトリーチなど、区民サービスを見据えた人材育成を。
- A. 職務知識と話を聴く力の向上や、接遇研修を実施することで、職員育成に取り組む。

### 学校図書館の充実について

- Q. 子どもの読書環境を豊かにする学校図書館の充実について。
- A. 学校図書館関係者との連携を強化し、子どもが主体的に読書活動に取り組み、豊かな人間性等の醸成に努める。

### インターネットリテラシーについて

- Q. 使い方、関わり方を子どもたちが自らルールを作るリテラシー創造の教育を。
- A. 児童・生徒が討論した考えを提言としてまとめ、リテラシー教育を育んでいく。

## 共産党議員団

### 羽田の新飛行経路案について

- Q. ①新飛行経路案について、「広報みなと」で「計画を理解する」と記され、区が認めたと誤解を与える。「了承していない」と明確に。
- ②落下物ゼロは無理。区長の考えは。
- A. ①区が了承や合意をしたことはない。
- ②国に事故の未然防止の取組の一層の推進と丁寧な説明を強く求める。



新飛行ルートへの撤回を求めるパレード

### 小・中規模の町会支援を

- Q. 運営が厳しくなっている小・中規模町会へ支援強化を。
- A. 来年度予算に反映させるため、取りまとめている。効果的な支援策を実施する。

### 電線類地中化の推進について

- Q. ①狭い区道で地中化する新技

- 術の活用を。
- ②東京電力に対し変圧器の小型化などの開発と事業費負担増を求めよ。
- ③区有地の活用で地中化促進を。
- ④民有地にも協力要請を。

- A. ①新技術の検討が進んでいる。積極的に活用し、地中化を推進する。
- ②地中の浅い部分への管路埋設など新技術導入し工事費削減を図る。
- ③区有地への地上機器の設置を検討。
- ④民間へ要請する。

### 国公有地を活用し保育園設置を

- Q. ①国公有地などの購入を。
- ②園庭のある保育園設置を。
- A. ①都や国へ積極的に働きかける。
- ②園庭の確保は困難だが、他の支援を実施する。



### 国民健康保険制度について

- Q. 都が保険者となり、保険料の大幅引き上げの可能性がある。
- ①説明会を開催すること。
- ②国庫負担の大幅引き上げ求めよ。
- ③都に保険料が上がらないよう要請を。
- A. ①広報みなと等で周知と、説明会を開催し丁寧に説明する。
- ②国による財政支援を拡充し、更なる国保財政基盤の強化を本年6月に全国市長会から要望した。
- ③都へ制度の安定化へ財政支援の実施を引き続き要請する。

### 民泊について

- Q. ①6月施行の「民泊新法」によるトラブル防止の条例化を。
- ②国交省の民泊禁止の「標準管理規約」を周知すること。

- A. ①区域と期間を制限する必要性も含め対応方針を策定。
- ②チラシを作成し郵送するなど様々な機会積極的に周知。

### ちいばすのバス停を明るく

- Q. ソーラーパネルなどを活用しバス停を明るくすること。
- A. 現状を把握し、利用者の視点から適切に対応していく。

### 骨髄移植ドナー支援制度を

- Q. 支援制度を実施すべき。
- A. 今後、区の特性を踏まえた事業のあり方を検討する。

### 斜面地でのマンション建設を規制する条例制定を

- Q. 南麻布三丁目で崖地に地下マンション建築が計画され、地元住民は反対の声を上げた。他自治体では規制する条例もある。区も条例を制定すべき。
- A. 区は、絶対高さ制限を定める高度地区等、諸制度を活用し良好な居住環境と落ち着きある街並みの形成を図る。



## 街づくりミナト

### 一の橋公園再整備について

- Q. 公園の人道橋設計を担当する東京都に景観に配慮した設計とするよう協議すべき。
- A. 古川と橋りょうが一体として地域に親しまれる水辺となるよう東京都と協議する。

### 木質ハイブリッド造について

- Q. (仮称) 港区子ども家庭総合支援センターの設計で、国産木材利用とCO2固定のため、鉄骨を内蔵した木質ハイブリッド集成材による新たな建築工法を検討すべき。
- A. 木質ハイブリッド構造の検討など、木の温かみと潤い、優しさを感じ、子育てを楽しく思える施設をめざす。



木質ハイブリッド建築

### 一時保育のおしらせ

- 区議会では、保護者の方が会議を傍聴している間、就学前のお子さんをお預かりすることができます。
- 一時保育を希望される場合、原則7日前までにお問い合わせください。
- 詳しくは、区議会事務局へ電話等でご相談ください。なお、会議の開会予定については区議会ホームページ、ポスター等でもご案内いたします。

【申し込み・問い合わせ先】  
一時保育について

区議会事務局議会総務係  
電話 03-3578-2921

## 議会はどなたでも傍聴できます

- 区議会の会議は、公開されています。
- 本会議、委員会とも傍聴できます。
- 傍聴を希望される方は、当日の会議予定を区議会事務局にご確認の上、お越しください。

【問い合わせ先】  
会議予定について

区議会事務局議事係  
電話 03-3578-2915

## 各会派の連絡先

不在の場合は、区議会事務局へ  
03-3578-2911

### 自 民 党 議 員 団

電 話 03-3578-2927  
F A X 03-3578-2909

### み な と 政 策 会 議

電 話 03-3578-2938  
F A X 03-3578-2949

### 公 明 党 議 員 団

電 話 03-3578-2935  
F A X 03-3578-2937

### 共 産 党 議 員 団

電 話 03-3578-2945  
F A X 03-3578-2947

### 東 京 維 新 の 会

電 話 03-3578-2958  
F A X 03-3578-2854

### 港 区 民 と 歩 む 会

電 話 03-3578-2958  
F A X 03-3578-2854

### 街 づ く り ミ ナ ト

電 話 03-3578-2958  
F A X 03-3578-2854



# 常任委員会の活動記録

## 総務

- 区議会議員の議員報酬の額等を改定する「港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例」、区長等の給料の額等を改定する「港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例」、教育長の給料の額を改定する「港区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例」〈3案賛成多数で原案可決〉
- 景気回復が実感できない現状
- 港区特別職報酬等審議会における職員と連動した一律の引き上げについての議論の有無
- 特別区人事委員会の勧告を受け、職員の給与を改定する「港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉
- 期末手当ではなく、勤勉手当による引き上げとなった理由
- 人事評価区分によって生じる勤勉手当の引き上げ分の差額
- 「平成29年度港区一般会計補正予算(第4号)」、「平成29年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第1号)」〈2案原案可決〉
- 契約金額を変更する「専決処分について(港区立港郷土資料館展示設営物等製造請負契約)の変更」〈了承〉
- 開館時期の延期を決定した時期及び理由
- 議案とせず専決処分とした理由
- 非常勤職員の育児休業期間を延長するほか、職員の育児休業期間の再度の延長等が必要となる特別の事情について明確化する「港区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉

- 再任用短時間勤務職員以外の非常勤職員への対応
- 職員の育児休業の取得状況
- 条例で定めることとされた包括外部監査契約を締結する会計年度を定める「港区外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉
- 包括外部監査の実施頻度を2会計年度ごとにした理由
- 包括外部監査の実施頻度見直しに対する監査委員からの意見
- 「平成29年度港区一般会計補正予算(第5号)」、「平成29年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第1号)」〈2案原案可決〉
- 入学準備金を前倒し支給する際の課題及び支給額
- 税及び国民健康保険料の支払方法の種類並びにクレジットカード納付による利用者の手数料負担
- 港区立麻布幼稚園 園舎増築等工事の工事請負契約の承認を求める「工事請負契約の承認について」〈原案可決〉
- 工事期間中の幼稚園の出入り口及び警備員の配置
- 特別簡易型総合評価方式の対象となる工事の基準及び同方式による実績
- 港区指定有形文化財 旧協働会館保存整備工事の工事請負契約の承認を求める「工事請負契約の承認について」〈原案可決〉
- 土地の取得に至った経緯及び土地価格の評価
- 施設の維持にかかる経費
- 区立施設と民間施設の合築である建

- …審議案件 ○…主な質疑
- 物全体の整備を民間施設の運営業者に委託するため、南麻布四丁目障害者支援施設等新築工事の工事委託契約の承認を求める「工事委託契約の承認について」〈原案可決〉
- 特別養護老人ホーム内の看護師の配置人数
- 区立施設を含む建物の整備工事等の公平性・透明性の確保
- (仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等の製造請負契約の承認を求める「製造請負契約の承認について」〈原案可決〉
- 区がこれまで結んだ製造請負契約の実績
- 契約金額の妥当性
- 図書館システム用据置型リーダライタの買換えのため、据置型リーダライタ59台を購入する「物品の購入について」〈原案可決〉
- 予定価格を公表しない理由
- 物品契約における競争入札の仕組み
- 港区立郷土歴史館の開館に伴う備品の整備のため、机135台、椅子229脚、棚177台、その他90点を購入する「物品の購入について」〈原案可決〉

### 閉会中の委員会活動

- ◆主な報告事項
  - ◇港区版ふるさと納税制度の開始及び寄附金税額控除対象団体の拡大
  - ◇平成29年度港区事務事業評価の結果
- ◆行政視察
  - ・平和への取組について(長崎市)
  - ・熊本地震の概要と復興・防災計画について(熊本市)

## 保健福祉

- 保育料を改める「港区立認定こども園条例及び港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例」〈賛成多数で原案可決〉
- 保育料の改定が区の歳入に与える影響及びその財源の有効活用
- 保育料の格差及び公平な受益者負担

### 閉会中の委員会活動

- ◆主な報告事項
  - ◇港区基本計画・実施計画(平成30年度～平成32年度)(素案)
  - ◇港区地域保健福祉計画(平成30年度～平成32年度)(素案)

### 行政視察

- ・福祉・保健・医療の連携について等(中津市)
- ・子どもの施設及び障害者施設の運営等について等(別府市)

## 建設

- 三田三・四丁目地区地区計画及び虎ノ門・麻布台地区地区計画の区域内における建築物の制限を定める「港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉
- 三田三・四丁目地区と虎ノ門・麻布台地区の建築物の用途制限において風営法の適用条項が異なる理由
- 違反建築物への罰則規定
- 屋外広告物について、事前協議の対象とする「港区景観条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉

- 事業者が助言・指導に従わない場合の対応
- 屋外広告物を事前協議の対象とすることの周知・啓発方法
- 「指定管理者の指定について(港区立白金台駅自転車駐車場)」〈原案可決〉
- 施設利用者と自転車駐車場利用者に対する駐輪場への誘導方法
- バイク置場を設置しないこととした経緯及び今後設置する可能性
- 特別区道第1,182号線を認定する「特別区道路線の認定について」〈原案可決〉
- バリアフリー用エレベーターの管理・運営方法
- 当該地周辺の駐輪対策

### 閉会中の委員会活動

- ◆主な報告事項
  - ◇港区芝浦港南地区橋りょう等ライトアップの実施
  - ◇港区基本計画・実施計画(平成30年度～平成32年度)(素案)
- ◆行政視察
  - ・金沢方式無電柱化の推進の取組について(金沢市)
  - ・神戸市バリアフリー道路整備マニュアルについて(神戸市)
  - ・名古屋駅周辺まちづくり構想について(名古屋市)

## 区民文教

- 特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の給与を改定する「港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉
- 現在の給与水準に対する認識
- 民間と公務員の給与の比較要素
- 区民税の寄附金税額控除の対象となる団体を拡大する「港区特別区税条例の一部を改正する条例」〈原案可決〉
- 区の歳入への影響
- 対象団体に法令違反等があった場合の対応

- 保育料を改める「港区立幼稚園の保育料に関する条例の一部を改正する条例」〈賛成多数で原案可決〉
- 国及び東京都の動向を踏まえた保育料見直し
- 保育園保育料より階層区分が少ない理由
- 「指定管理者の指定について(港区立郷土歴史館)」〈賛成多数で原案可決〉
- 選考委員会における採点結果の妥当性及び委員からの指摘事項への対応
- 開館時間延長の可能性

### 閉会中の委員会活動

- ◆主な報告事項
  - ◇港区基本計画・実施計画(平成30年度～平成32年度)(素案)
  - ◇港区国際化推進プラン(平成30年度～平成32年度)(素案)
- ◆行政視察
  - ・地域との連携・協働による学校運営について等(京都市)
  - ・歴史文化資料の収集・保管・展示に関する施設の運営について(島根県)

# 特別委員会の活動記録

## 閉会中の主な報告事項

### 交通・環境等対策

- ◇(仮称)虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業環境影響評価書案
- ◇(仮称)芝浦一丁目建替計画環境影響評価書案

### 東京オリンピック・パラリンピック対策

- ◇東京2020パラリンピック競技大会の気運醸成に向けたイベントの実施
- ◇(仮称)区民マラソン大会の平成30年12月の実施及び実行委員会の設置

## 平成29年第1回臨時会

### エレベーター等対策

- シティハイツ竹芝において発生したエレベーター事故に関する損害賠償請求訴訟事件の「和解について」〈原案可決〉
- 港区が所有し、又は管理するエレベーターの二重ブレーキの設置状況
- エレベーター事故の再発防止策

# 議案等の審議結果

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

議案番号	案件名	議自 員民 団党	政み 策会 議と	議公 員明 団党	議共 員産 団党	維東 新の 会京	歩港 む区 民と	ミ街 づナ トリ	議決 結果
議案 第66号	和解について（損害賠償請求訴訟事件に係る和解）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
<b>平成29年第4回定例会 案件名</b>									
区長報告 第6号	専決処分について（港区立港郷土資料館展示設営物等製造請負契約の変更）	○	○	○	○	○	○	○	了承
議案 第67号	港区職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第68号	港区特別区税条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第69号	港区地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第70号	港区景観条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第71号	港区立認定こども園条例及び港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第72号	港区立幼稚園の保育料に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第73号	港区外部監査契約に基づく監査に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第74号	平成29年度港区一般会計補正予算（第5号） ●歳入歳出それぞれ1,005,906千円を追加、総額を178,198,890千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第75号	平成29年度港区国民健康保険事業会計補正予算（第1号） ●システム改修（国保年金）の債務負担行為、限度額を3,577千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第76号	工事請負契約の承認について（港区立麻布幼稚園園舎増築等工事）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第77号	工事請負契約の承認について（港区指定有形文化財旧協働会館保存整備工事）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第78号	工事委託契約の承認について（南麻布四丁目障害者支援施設等新築工事）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第79号	製造請負契約の承認について（(仮称)港区立科学館プラネタリウム機器等）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第80号	物品の購入について（図書館システム用据置型リーダーライタ）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第81号	物品の購入について（港区立郷土歴史館什器等）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第82号	指定管理者の指定について（港区立白金台駅自転車駐車場）	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第83号	指定管理者の指定について（港区立郷土歴史館）	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第84号	特別区道路線の認定について（赤坂九丁目）	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第85号	港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第86号	港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第87号	港区教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	原案可決
議案 第88号	港区職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

各会派の態度 ○…賛成 ×…反対

議案番号	案件名	議自 員民 団党	政み 策会 議と	議公 員明 団党	議共 員産 団党	維東 新の 会京	歩港 む区 民と	ミ街 づナ トリ	議決 結果
議案 第89号	港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第90号	平成29年度港区一般会計補正予算（第4号） ●歳入歳出それぞれ82,125千円を追加、総額を177,192,984千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第91号	平成29年度港区後期高齢者医療会計補正予算（第1号） ●歳入歳出それぞれ3,129千円を追加、総額を5,316,907千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
請願 第10号	同性カップルの「パートナーシップの公的認証」に関する請願	×	○	○	○	×	○	○	採択
発案 第8号	東京都受動喫煙防止に関する条例に係る意見書	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

## 皆さんから提出された請願

### 採択とした請願

- ▼同性カップルの「パートナーシップの公的認証」に関する請願

### 継続審査とした請願

- ▼中学校で使用する歴史・公民教科書の採択に関して教育基本法を順守して行うことを求める請願
- ▼羽田空港増便による都心および港区の低空飛行ルート設定中止に関する請願
- ▼JR「品川新駅（仮称）」の駅名を「芝浦」とすることを要望する請願
- ▼ライドシェア・白タク合法化反対の意見書採択を求める請願
- ▼コンビプラザ品川保育園における継続運営に関する請願
- ▼芝浦小学校への特別支援学級設置に関する請願
- ▼保育所職員に対する処遇改善を求める請願

## 請願書の書き方 皆さんの声を区政に！

区議会では、広く皆さんの意見や要望を請願として受け付けています。

特に定められた様式はありませんが、右記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。

- ①日本語で請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- ②請願者の住所、氏名（自署又は記名押印）、電話番号を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定めて署名簿を添付してください。
- ③あて先は「港区議会議長」としてください。

提出前に、事前に区議会事務局に請願書の書き方・提出方法などをご相談ください。

【提出・問い合わせ先】

区議会事務局議事係 電話 03-3578-2915

### 【書き方】

(A4 判用紙・おもて)

(A4 判用紙・うら又は2枚目)

<p>〇〇〇〇に関する請願</p> <p>港区議会議長 〇〇 〇〇様</p> <p style="text-align: right;">提出年月日</p> <p>請願者 住所 氏名 (署名又は記名押印) 電話番号</p> <p>請願の趣旨（簡潔に） 〇〇を〇〇〇してほしい。</p>	<p>請願理由</p> <p>請願の趣旨に沿った具体的な内容をご記入ください。</p>
--	---



## お見舞い

港区議会を代表して池田こうじ議長が、武井雅昭港区長とともに、それぞれの大使館にお見舞いに伺いました。

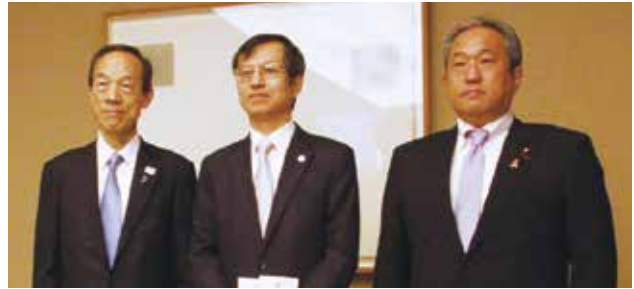
○11月21日 地震により被害を受けたイラン・イスラム共和国の在京大使館へ

○12月7日 地震により被害を受けた大韓民国の駐日大使館へ

被災地の一日も早い復興をお祈りいたします。



イラン・イスラム共和国大使館にて



大韓民国大使館にて

## 港区議会のホームページ、議会の映像をご覧ください

港区議会では、会議のお知らせや内容を港区議会ホームページでお知らせしています。また、本会議、予算・決算特別委員会のインターネット中継（生中継・録画中継）をしています。ぜひ、ご覧ください。

●港区議会ホームページのアドレス

<http://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

または「港区議会」で



## 速記録・会議録は閲覧できます

本会議や委員会の内容を記録したもの（速記録・会議録）は、港区役所3階区政資料室、区立図書館（高輪分室を除く）で閲覧できます。

## 第2回 議場コンサートが開催されました！

11月13日（月）、お昼休みの時間帯に港区議会の議場にてフルートアンサンブルコンサートが開催されました。

フルートのやさしく美しい音色が、心を癒してくれました。

お越しいただいた皆さんは、素敵なお昼のひとときをお過ごしただけたかと思います。

（主催：地域振興課 文化芸術振興係）



## 区議会だよりの表紙をあなたの写真で飾りませんか？

年4回発行している「区議会だよりに」について、3回分（4月、7月、11月）発行予定の表紙を飾る写真（デジタルデータ）を募集します。

【写真のテーマ】 私が好きな港区の風景（発行月の季節にあった風景）

【応募規定】 1 区内で撮影された横向きの写真（未発表のもの）  
2 デジタルデータで5MB以上のJPEGデータ

【応募方法】 1 撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号、写真のコメント（17文字以内）をメールに記入のうえ、応募作品の写真データを添付してください。  
2 応募締切 発行月の前月15日まで（次回のNo216号は3月15日締切）  
3 送付先E-mail：minatokugikai@jcom.zaq.ne.jp

【その他】 ○掲載作品の選考は「区議会だよりに編集委員会」で行います。  
○ご不明な点は区議会事務局にお問い合わせください。

## 議員の電話番号変更

兵藤 ゆうこ  
080-5898-4960

山野井 つよし  
090-6543-0342

◆この「区議会だよりに」は、新聞折り込みのほか、区の主な施設の窓口にも置いてあります。

また、郵便局、公衆浴場、東京メトロ7駅、JR2駅、ゆりかもめ5駅などに置いてあります。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。

◆「点字区議会だよりに」「声の区議会だよりに」も発行していますので、ご利用ください。

【申し込み・問い合わせ先】 区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

## あしがき

平成30年第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。

編集委員  
副議長 七戸 淳  
小倉 りえこ ちほぎ みき子  
山野井 つよし 熊田 ちづ子